

<報道発表資料>

E-mail: a5448-01@pref.saitama.lg.jp

.....
カテゴリ:危機管理

令和7年2月19日

流域下水道管に起因する道路陥没事故の発生について（第14報）

令和7年1月28日に八潮市内の県道松戸草加線中央一丁目交差点内において、中川流域下水道の下水道管の破損に起因すると思われる陥没が起き、走行中のトラックが転落する事故が発生しました。

1 事故概要**(1) 発生日時**

令和7年1月28日(火)午前10時頃

(2) 発生場所

県道松戸草加線中央一丁目交差点内（八潮市中央一丁目地内）

※現在、通行規制中

(3) 現場状況

中川流域下水道の下水道管の破損に起因すると思われる陥没が発生

2 下水道の使用自粛

八潮市内で発生した中川流域下水道の下水道管の破損について、復旧まで時間を要することが見込まれ、汚水が溢れる可能性があることから、お風呂、洗濯等の排水の頻度を下げるなど協力をお願いしてきました。

排水ポンプで陥没部をバイパスする対策を進めてきたことにより、ご協力をいただいていた可能な範囲での下水道の使用自粛と同程度の効果を得る見込みが立ちました。

このため、2月12日（水）12時から、下水道の使用自粛のお願いを行わないこととしました。

県民の皆様のこれまでのご協力に感謝申し上げます。

また、今後、大雨等により汚水があふれる可能性が発生した場合や工事の段階に応じて、再度お願いする可能性があります。

3 現在の対応

- (1) 国土技術政策総合研究所、日本下水道事業団、日本建設業連合会、埼玉県建設業協会の協力をいただき、今後の復旧方針について検討中。がれきの撤去、スロープの復旧・強化、鋼矢板の設置等を実施中。地上から削孔し管渠内を常時監視できる体制を構築。
- (2) 日本下水道管路管理業協会の協力をいただき、事故現場の上流側のマンホール等から中川水循環センターへの汚水移送を実施中。
- (3) 関東地方整備局の協力をいただき、下水道の使用自粛と同程度の効果を得るチュウ4マンホールからチュウ3マンホールへの汚水移送を2月12日（水）から実施中。
- (4) 関東地方整備局の協力をいただき、春日部中継ポンプ場から近傍の水路・新方川を經由し中川への下水の放流を実施中であるが、早期に終了できるように検討中。放流の影響を少しでも減らすため、企業局において希釈水を新方川上流水路に放流、また元荒川から河川水を取水し新方川上流水路に希釈水として放流を実施中。
- (5) 土木の措置によりキャビンへのアクセスを行うことを決定。工法については一旦バイパスとなる下水道管の設置により下水を迂回させつつ、キャビンに向けて掘削を進める方針。
- (6) 2月5日（水）から相談窓口を開設し、事故に関連する電話による様々な問合せや相談などに応じています。なお、外国人住民の方には「外国人総合相談センター埼玉」を案内し、連携して対応します。
- (7) 陥没箇所周囲の地盤改良等の対策工事が完了したため、避難区域を2月19日（水）9時から解除いたします。また、2月22日（土）に周辺住民の皆様を対象とした工事説明会を開催予定です。

4 今後の対応

- (1) 原因究明と応急復旧工事の検討・実施、抜本的対策の検討
- (2) 同様の下水道管の緊急点検

5 本対応における受援状況

- (1) 国土交通省本省
- (2) 国土交通省関東地方整備局
- (3) 国土交通省国土技術政策総合研究所
- (4) 国立研究開発法人 土木研究所
- (5) 地方共同法人 日本下水道事業団
- (6) 一般社団法人 日本建設業連合会
- (7) 一般社団法人 建設コンサルタント協会
- (8) 一般社団法人 埼玉県建設業協会
- (9) 一般社団法人 埼玉県測量設計業協会
- (10) 公益社団法人 日本下水道管路管理業協会
- (11) 埼玉県地質調査業協会

6 問合せ先

流域下水道管の管理

下水道局下水道事業課 担当 管理運営担当 電話 048-830-5453

県道松戸草加線の道路管理

県土整備部道路環境課 担当 総務・管理担当 電話 048-830-5101

電話相談窓口の開設について

下水道局下水道管理課 担当 企画・調整担当 電話 048-830-5446

外国人総合相談センター埼玉

県民生活部国際課 担当 多文化共生担当 電話 048-830-2717